

評価基準

教科	道徳	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
<p>どうとくで 学しゅうする こと</p> <p>どうとくでは こんな 学び方 を するよ</p>	1	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることをとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているかどうかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分自身を見つめ、自分の考えとは違う意見を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
<p>1 春が いっぱい</p> <p>「しぜんを かんじる」</p> <p>【D 自然愛護】</p>	1	身のまわりの春について考えることをとおして、自然のすばらしさや動植物との接し方に気づき、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	自然のすばらしさに気づき、身近な動植物や光や風などの自然について、多面的・多角的に考えることができているか。	優しく、温かい心で身近な動植物に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
<p>2 知らない 人にも</p> <p>「気もちの よい あいさつ」</p> <p>【B 礼儀】</p>	1	知らない人（来訪者）にも挨拶をしたほうがよいのかを考えることをとおして、挨拶が相手に与える影響や挨拶がもっている力に気づき、相手をさわやかな気持ちにさせる挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。	挨拶がもっている力に気づき、知らない人（来訪者）にも挨拶をすることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	知らない人（来訪者）にも挨拶をすることの大切さや相手をさわやかな気持ちにさせる挨拶について、自分との関わりで考えることができているか。
<p>3 「つよいところ」</p> <p>「強い 心とは」</p> <p>【A 善悪の判断、自律、自由と責任】</p>	1	勇気を出して行うことについて考えることをとおして、物事のよいことと悪いことを区別し、よいと思うことを行う「勇気」を出すために必要なことに気づき、強い心をもってすすんでよいと思うことをしようとする実践意欲と態度を育てる。	正しいことを行うことの大切さに気づき、正しいことを勇気を出して行うには、何が必要であるかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	勇気を出して正しいことを行うことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
<p>4 あいさつの しかた</p> <p>「いろいろな あいさつ」</p> <p>【B 礼儀】</p>	1	友達や先生、お客さんとのやりとりを体験的に学ぶことをとおして、時と場に応じた挨拶の仕方を理解し、時と場や相手に応じた挨拶ができるようになる判断力を育てる。	時と場に応じた挨拶をすることの大切さについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができているか。	礼儀正しい挨拶の仕方を理解し、時と場に応じて実践しようとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
5 お月さまと コロ「すなおな心で」【A 正直、誠実】	1	謝りたいのになかなか謝れなかったコロが、謝ろうと決めるまでの心情を考えることをとおして、素直な気持ちでいることの大切さに気づき、素直で明るい気持ちを大切にしていこうとする心情を育てる。	素直な気持ちでいることの大切さに気づき、素直で明るい気持ちでいることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	素直で明るい気持ちで生活をするこのよさを理解し、素直になるとよいことがあるということについて、自分との関わりで考えることができているか。
6 あと 少し 「ねばり強く やりぬく」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	二重跳びができるようになりたいと努力を続けた「ぼく」の気持ちや行動について考えることをとおして、挫けずに努力を続けることの大切さに気づき、自分の目標をもち、どんなにつらくても諦めないで自分で立てた目標を達成しようとする実践意欲と態度を育てる。	挫けずに努力を続けることの大切さに気づき、苦しいことに対しても諦めずに努力することについて、多面的・多角的に考えることができているか。	目標に向かって努力することの大切さを理解し、自分の立てた目標は、どんなにつらくても諦めないで達成しようとするということについて、自分との関わりで考えることができているか。
7 もう やらない！ 「みんなと 楽しく 生活する」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	自分の思い通りにいかなかったときのかずとくんの言動について考えることをとおして、周りにはいる人たちと楽しく学校生活を送るために大切なことに気づき、みんなと楽しく遊ぶためにはどうしたらいいかを考え、実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	先生や友達とともに、楽しい学校生活を送るために大切なことについて、多面的・多角的に考えることができているか。	先生や友達とともに、楽しい学校生活を送るために大切なことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 先生や友達など、周りの人とよい関係を築き、よりよい学校生活を送るために大切にしたいことについて、自分との関わりで考えることができているか。
8 金の おの 「いつも 正直に」 【A 正直、誠実】	1	きこりと仲間のきこりの行動について考えることをとおして、正直に生きることの大切さに気づき、うそをついたり、ごまかしたりせず正直に生活しようとする判断力を育てる。	うそをつかず、正直に生きることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	嫌なことから逃れようとして、うそをついたりごまかしたりしないようにするとともに、人の失敗を責めたり笑ったりしないで生きようとするということについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
9 みほちゃんと、となりのせきのますだくん 「友だちの気持ちになって」 【B 友情、信頼】	1	みほちゃんとますだくんのそれぞれの気持ちや行動について考えることをとおして、自分の思いだけでなく友達の気持ちも考えて行動することの大切さに気づき、互いの気持ちを理解しながら接しようとする実践意欲と態度を育てる。	友達の気持ちを考えて行動することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分の思いだけでなく、友達の気持ちを考えることも大切にし、互いの気持ちを理解しながら接することについて、自分との関わりで考えることができているか。
10 ごみすて 「公正・こうへいなたいどで」 【C 公正、公平、社会正義】	1	一人になったかすみか、ごみ捨てに行く二人の後ろ姿を見ながらどんなことを考えたのかについて話し合うことをとおして、人によって態度を変えないことの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で関わろうとする実践意欲と態度を育てる。	自分の好き嫌いにとらわれずに接することのよさに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で関わるることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	人によって態度を変えないことの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で関わろうとすることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
11 すてきな二年生 「きそく正しく、気持ちよく」 【A 節度、節制】	1	「すてきな二年生」になるために行動する登場人物のよいところについて考えることをとおして、規則正しく、気持ちのよい、節度ある生活をするための大切さに気づき、規則正しい生活ができるようにする実践意欲と態度を育てる。	健康に気をつけ、身のまわりを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をするための大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	規則正しく、気持ちのよい、節度ある生活をするための大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
12 電車の中で 「あたたかい心で」 【B 親切、思いやり】	1	電車の中の男の人の行動について考えることをとおして、他者に対して思いやる行動をとることのすばらしさに気づき、温かい心ですすんで他者に親切にしていることとする心情を育てる。	親切にすることや思いやることのすばらしさに気づき、困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切に接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。	親切にすることや思いやることのすばらしさに気づき、困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切に接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
13 もったいない 「みのまわりにあるものを大切に」 【A 節度、節制】	1	「もったいない」と言うおばあさんの行動について話し合うことをとおして、物は限りある資源と人の努力によって作られていることに気づき、身のまわりにある物を大切にしたい生活しようとする道徳的心情を育てる。	物を大切に扱うことよさに気づき、身のまわりにある物を大切に生活することについて、多面的・多角的に考えることができているか。	物は限りある資源と人の努力によって作られていることに気づき、身のまわりにある物を大切にすることよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
14 みんなのものって？ 「みんなのものを大切に」 【C 規則の尊重】	1	「ぼく」の行動をもとに約束やきまりについて体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、みんなが使うものやみんなのものを大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	約束やきまりについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができているか。	みんなが使うものを大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
15 しんじていいのかな 「みのあんぜんをまもる」 【A 節度、節制】	1	「わたし」の行動について考えることをとおして、個人情報の流出などの危険を防ぎ、安全に生活することの大切さを理解し、安全に生活しようとする判断力を育てる。	安全に生活することの大切さに気づき、危険を避けて安全に生活するためには、どのようにすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	危険を避けて安全な生活を送るために必要なことに気づき、今後どのようにすればよいかについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
16 ぼんたとかんた 「よいと思うことをすすんで」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	ぼんたとかんたの行動について考えることをとおして、物事のよいことと悪いことに対する考えを深め、よいと思うことをすすんで行おうとする判断力を育てる。	よいと思う行動をすることの大切さに気づき、よいことと悪いことを正しく判断するにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。	善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようとするということについて、自分との関わりで考えることができるか。
17 いいのかな 「きまりをまもって」 【C 規則の尊重】	1	たつやさんの行動について考えることをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする判断力を育てる。	約束やきまりを守ることに大切さに気づき、自己中心的な発想の問題点について、多面的・多角的に考えることができるか。	楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であることに気づき、約束やきまりを守って生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。
18 はりきりパンダとだらだらパンダ 「まけない心を」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	やる気が起こらず、やるべきことに取り組みず困っているあやちゃんの気持ちや行動について考えることをとおして、怠けたいという気持ちに負けずに、自分のやるべきことを行う大切さに気づき、強い意志をもって自分のやるべきことを行おうとする実践意欲と態度を育てる。	自分のやるべきことをしっかりと行うことの大切さに気づき、怠け心に打ち勝つ方法について、多面的・多角的に考えることができるか。	怠けたいという気持ちに負けないで、強い意志をもって自分のやるべきことを行うことの大切さや難しさについて、自分との関わりで考えることができるか。
19 ありがとうはだれが言う？ 「まわりの人にありがとう」 【B 感謝】	1	お客さんも店員さんにお世話になっていることに気づいた「ぼく」の心情の変化について考えることをとおして、日頃からお世話になっている全ての人に感謝の気持ちをもつことの大切さに気づき、日常生活のさまざまな場面で感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。	お世話になっている身近な人々に対して感謝の気持ちを伝えることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。	日頃からお世話になっている身近な人々に対してどのような態度で接したり、どのような言葉かけをしたりすればよいかについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
20 ゆかみがき 「はたらくことのよさ」 【C 勤労、公共の精神】	1	床磨きをする二人の気持ちや行動について考えることをとおして、自ら働くことの楽しさやよさに気づき、すすんでみんなのために働こうとする実践意欲と態度を育てる。	自ら働くことによさに気づき、みんなのために働くことについて、多面的・多角的に考えることができているか。	みんなのために働くことによさに気づき、すすんで仕事をしようとするについて、自分との関わりで考えることができているか。
21 わたしの町のあんこやさん 「国やちいきのよさに気づく」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	日本の伝統的なあんこを作る、地域のお店について考えることをとおして、自分たちが住む国や町のよさに気づき、国や地域に愛着をもって親しもうとする実践意欲と態度を育てる。	国や郷土のよさに気づき、国や郷土の文化や生活について、多面的・多角的に考えることができているか。	国や郷土の文化や生活のよさを理解し、愛着をもって親しむことについて、自分との関わりで考えることができているか。
22 くらべてみよう 日本とせかい 「日本とせかいのちがいを知る」 【C 国際理解、国際親善】	1	日本と世界の違いにふれ、その違いを知るよさについて考えることをとおして、他国に対する理解や親しみをもつことのよさに気づき、他にも日本と世界ではどんな違いがあるのか調べてみようとする実践意欲と態度を育てる。	世界の国々を理解することの大切さに気づき、すすんで世界の国々を知るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	世界のいろいろな国を知るることの大切さを理解し、すすんで世界のことを知ろうとするについて、自分との関わりで考えることができているか。
23 きつねとぶどう 「ありがとうの気持ち」 【B 感謝】	1	子ぎつねを守った親ぎつねの愛情について考えることをとおして、家族などの日頃お世話になっている人々に、感謝の気持ちを伝えることの大切さに気づき、感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	主人公をとおして、家族などの日頃自分のために尽くしてくれている周囲の人々の存在に気づき、感謝の気持ちを伝えることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	家族などの身近な人々からの愛情に対して感謝の気持ちを持ち、伝えることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
24 ぼくも手つだうよ 「かぞくとしてできることを」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	あつし兄ちゃんに「たよりになるね。」と言われたときのまさるの気持ちについて話し合うことをとおして、自分にできることをすすんで手伝うことで家族の役に立てることに気づき、家族の一員としてできることをしようとする実践意欲と態度を育てる。	自分ができることをするよさに気づき、自分にできることをすすんで手伝うことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自分にできることをすすんで手伝うことで家族の役に立てることに気づき、家族の一員としてできることをしようとすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
25 やっと会えたね 「はじめまして 小さいのち」 【D 生命の尊さ】	1	みさき（「わたし」）の心の動きを考えることをとおして、生命が誕生することのすばらしさに気づき、生命を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	生命が誕生することのすばらしさに気づき、生命の大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。	生命のすばらしさ、生命の大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
26 おむかえ 「かぞくとして」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	お姉ちゃんや「わたし」の気持ちや行動について考えることをとおして、家族の愛情に気づき、家族に対する愛情をいっそう深めようとする心情を育てる。	家族の愛情に気づき、家族が愛情をもって接してくれていることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	家族の愛情を受け止め、家族のためにできることをすすんで行おうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
27 とおるさんのゆめ 「よいところをのばす」 【A 個性の伸長】	1	友達のよいところについて考えることをとおして、自分のよいところに気づき、そうしたよいところを伸ばそうとする心情を育てる。	自分や友達のよいところを見つけることのよさに気づき、自分や友達のよいところについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自分のよさについて考える授業をとおして、自分のよいところや悪いところなどにさまざまな視点から気づき、どのようによいところを伸ばすかについて、自分との関わりで考えることができるか。
28 つな引き大会 「楽しい学校生活のために」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	「ぼく」が6年生のようなリーダーになりたいと思ったのはどうしてなのかについて考えることをとおして、学校のみんなとの関わりを深めることで学校生活を楽しくしていけることに気づき、学校生活を自分たちで楽しくしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	学校生活を楽しくすることのよさに気づき、学校生活を楽しくしていくために大切なことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	学校のみんなとの関わりを深めることで学校生活を楽しくしていけることに気づき、学校生活を自分たちで楽しくしていくことのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
29 ぐみの木と小鳥 「あいてのことを思って」 【B 親切、思いやり】	1	小鳥やぐみの木が相手のことを思いやる気持ちについて考えることをとおして、相手のことを考え、親切に、温かい心で接することのよさに気づき、すすんで親切をしようとする心情を育てる。	親切に接することのよさに気づき、小鳥やぐみの木の相手を思いやる気持ちや、親切な行動をすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	相手のことを思いやり、温かい気持ちで親切に接することのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
30 しあわせの王子 「心のうつくしさ」 【D 感動、畏敬の念】	1	王子とつばめの気持ちや行動について考えることをとおして、美しいものや美しい心についての理解を深め、美しいものや気高いものに感動しようとする心情を育てる。	美しいものや美しい心についての理解を深め、王子やつばめのもつ心の美しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。	美しい心や、美しい心から生まれる行動のよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
31 ゆっきとやっち 「友だちとたすけ合う」 【B 友情、信頼】	1	ゆっきとやっちの気持ちや行動について考えることをとおして、友だちがいることのよさに気づき、友だちと仲よく、助け合おうとする実践意欲と態度を育てる。	友だちがいることのよさに気づき、友だちと一緒に仲よく活動することのよさや楽しさ、助け合うことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	友だちと仲よくし、助け合うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
32 友だち思い名人 「自分のよさに気づき、のばす」 【A 個性の伸長】	1	先生から褒められたことで、自分のよさに気づいたあきらの心の変化をとおして、自分のよいところに気づき、それを伸ばしていこうとする心情を育てる。	自分のよさに気づき、自分のよさを伸ばしていこうとすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分のよさに気づき、伸ばしていこうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
33 ぼくたちのハッピーエール 「だれにでも」 【C 公正、公平、社会正義】	1	真剣な顔で苦手なことに取り組む友達を見て、自然に応援の言葉をかけた「ぼく」の心の変化を考えることをとおして、自分の好き嫌いにとらわれずに友達に接することの大切さに気づき、自分の好みや利害によらず、誰にでも公平・公平に接しようとする実践意欲と態度を育てる。	自分の好き嫌いにとらわれず、公正・公平に接することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。	誰とでも分け隔てなく接していこうという気持ちを高めるなど、誰にでも公正・公平に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	2学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
34 虫が大すき ——アンリ・ファール—— 「しぜんに親しむ」 【D 自然愛護】	1	身のまわりの虫たちに対するファールの姿勢について考えることをとおして、身近な自然や動植物に対する興味・関心を高め、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	身近な自然や動植物に対する理解を深め、自然や動植物との関わりについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自然や動植物に親しむことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
35 日本のたから 富士山 「国やふるさとのよさ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	富士山やその周りの自然についてよいと感じているまなさんの気持ちについて考えることをとおして、国や地域のよさに気づき、国や郷土に親しもうとする実践意欲と態度を育てる。	国や郷土のよさに気づき、国や郷土の文化や生活について、多面的・多角的に考えることができるか。	国や郷土の文化や生活のよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
学しゅうを ふりかえろう	1	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。	心に残った話（教材）とそれを選んだ理由、一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができるか。	